天井の明るい照明、それ問題です！

夜は介護照明に変えましょう

介護がしやすく、心と体が楽になる
そして介護される人にも優しい照明

多くの介護施設(在宅含)では、天井に明るい照明が付いていて、部屋を隅々まで照らしています。このことは、あまりにも当たり前すぎて、疑問を持つ人はほとんどいません。
でも想像してみてください。介護されている人がベッドから見ているのは、その眩しい照明なんです。これでは落ち着かないだけでなく、睡眠や体内時計にも大きな影響が出ます。

照明塾では、10年以上にわたり「医療的ケア児」の夜の介護を、あかりで変える取り組みを続けてきました。そこから、私たちは「介護のための照明」を研究し、一つの結論を得ました。
私たちの考えた照明（↓）を使った人からは、照度が低くても見やすい。心と体が楽になった。さらに、自分で必要な明るさに調節できるのでとても便利・・と高い評価を得ています。

写真の手作りのあかりは
子供の絵を元に作っています
ご指定の絵から作ることもできます

この「介護照明」は、スタンド式なので工事も必要とせず、置いたその日から、いつものお部屋が癒し空間に変わります。
さぁ、今日から夜は「介護照明」に変えましょう。
」

改装前		改装後
天井の明るい照明		手作りのあかりと 間接照明

←写真は、DIYで半日で施工
「あかりのリノベーション」
オンラインセミナーで、ノウハウを学びませんか。

「介護照明」の導入について

まずは
照明診断から

照明塾にご相談ください
shomeijuku.com
問い合わせフォームをご利用ください